

たけた

# 市議会だより

臨時号 発行 平成17年7月1日

編集 ■ 市議会だより編集委員会 ☎0974-63-4813 印刷 ■ (資)竹田印刷



就任ごあいさつ



竹田市議会  
議長  
児玉 誠三



竹田市議会  
副議長  
足達 寛康

新竹田市の発足に伴い、二十八名で構成する新市議会がスタートし、去る五月十九日の第一回臨時会に於きまして、私共が指名推薦により、正・副議長に就任致しました。

新市誕生の今、その責任の重さを目を増す毎に痛感しているところであります。

二年間の合併協議を経ての新市誕生であります。合併後に調整される事項が山積し、それぞれの地域を抱える諸問題や、これまでの経過を勘案しながらの慎重審議と、厳しい判断を求められる議会となります。

議員各位から勉強会、研究会等の立ち上げを希望する声が相次ぐ等、全員が新しい竹田市の建設に意欲を燃やしているところでありますが、私は新議会の一体感の醸成と議員相互の信頼を深めていく事を念頭におきながら、今回の合併の目的が脆弱な財政基盤を充実、強化するための選択である事から、まずは厳しい財政状況の実態を議員全員が正確に把握し、行財政改革に議会挙げて取り組んでいかなければと考えております。

新竹田市には全国に誇れる豊富な観光資源を有しています。農業、商業、観光を一体的に推進し、「自然、歴史、文化を育む名水湯田園観光都市」を目指して活発な議会活動を展開していきたいと考えています。

市民の皆様は「合併して良かった」と実感して頂ける竹田市づくりに、誠心誠意取り組んでいく所存でございます。

市民の皆様にも議会の傍聴や議会だより等を通じ、市議会に積極的にご意見やご提言を頂ける事を願っています。

終わりに、市民の皆様方のご健康、ご多幸をご祈念申し上げ、就任のご挨拶と致します。

# 議員紹介

先の竹田市議会議員選挙におきまして、次の28名が当選いたしました。

今月は、「市議会だより」臨時号を発行し、議員の紹介をいたします。

- ① 議員としての抱負
- ② 好きな言葉
- ③ 趣味、特技

① 輝きと生きがい  
新生竹田市が歴史的一步を踏み出すにあたり、周辺部地



小代 一幸  
(直入町上田北)

① 地方自治体の行財政運営は益々厳しさを増していますが、新しい竹田市の誕生を機に、厳しい現実を乗り越え展望を切り開いていかなければと思っています。  
竹田市の歴史、文化、自然



佐田 啓二  
(穴井迫)

① 新竹田市の始まりにあたり、今、竹田市が抱えている問題を明確にし、分析する事で、方向性を明らかにする事が大切だと思います。



徳永 信二  
(荻町木下)

② 輝きと生きがい  
域も中心部と一体となって新生竹田市として輝く。このことを念頭に旧一市三町それぞれの特色を活かした農業・観光の持続と更なる振興を図ることが、ふるさとに輝きをもたらし、少子高齢化がますます進む中、高齢者福祉を始め障害者福祉・児童福祉の充

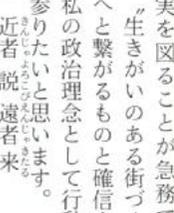
② 一期一会  
③ 海釣り、スポーツ全般  
環境は人が人として暮らす上では最高です。しかしそこに生きるという点において多くの課題があります。竹田市の活性化は若者の定住が鍵です。新市長を中心に市民、議会、行政の三位一体の取組みが今こそ求められています。子どもからお年寄りまで安心して暮らせる竹田市をめざして努力して参ります。

② 初心忘るべからず  
③ スポーツ全般  
生産基盤と構造の徹底分析を基にした短期、中期、長期の事業を進める時期ではないかと思っています。  
今後、竹田市に必要な事柄が何かを、市民の皆様と共に考え、議会での方針を定め、取り組んでいきたいと思えます。

① 地方自治の原点は住民の理解と参加だと言われていますが、新市全体の振興は、それぞれの地域が知恵と力を出しながら連携し、良い意味で競争し合う中から構築されていくものと考えます。新生竹田市は様々な課題を抱えての船

① 地方自治の原点は住民の理解と参加だと言われていますが、新市全体の振興は、それぞれの地域が知恵と力を出しながら連携し、良い意味で競争し合う中から構築されていくものと考えます。新生竹田市は様々な課題を抱えての船

② ゴルフ  
③ 近者 説 遠者 来  
実を図ることが急務であり「生きがいのある街づくり」へと繋がるものと確信をし、私の政治理念として行動して参りたいと思えます。



大塚 惟敬  
(直入町長湯)

① 新生「竹田市」が発足して、早いもので二か月経過をし、暫定市政から本格市政へ移行



日小田 秀之  
(次 倉)

② 誠心誠意  
③ スポーツ (最近ほとんどやっていないが)  
出となっていますが、これらを克服していくには我田引水的に物事を考えるのではなく、お互いを理解し合う気持、相手を尊重する姿勢、つまりは「心の融合」が肝要だと思います。



② 百折不撓  
③ スポーツ観戦  
今、国も地方も危機的な財政状況にあります。国の三位一体改革により益々厳しい財政運営が余儀なくされます。従って、喫緊の課題は行財政改革の断行であります。財政運営の効率化・安定化を大前提に多様化・高度化する市民ニーズに対応して参ります。

取り分け、福祉・教育・若者の定住・観光振興・地場産業の育成など、幅広く合併して良かったと言われる地域振興に誠心誠意取り組んで参ります。

今、国も地方も危機的な財政状況にあります。国の三位一体改革により益々厳しい財政運営が余儀なくされます。従って、喫緊の課題は行財政改革の断行であります。財政運営の効率化・安定化を大前提に多様化・高度化する市民ニーズに対応して参ります。

出となっていますが、これらを克服していくには我田引水的に物事を考えるのではなく、お互いを理解し合う気持、相手を尊重する姿勢、つまりは「心の融合」が肝要だと思います。

今、国も地方も危機的な財政状況にあります。国の三位一体改革により益々厳しい財政運営が余儀なくされます。従って、喫緊の課題は行財政改革の断行であります。財政運営の効率化・安定化を大前提に多様化・高度化する市民ニーズに対応して参ります。

今、国も地方も危機的な財政状況にあります。国の三位一体改革により益々厳しい財政運営が余儀なくされます。従って、喫緊の課題は行財政改革の断行であります。財政運営の効率化・安定化を大前提に多様化・高度化する市民ニーズに対応して参ります。



井 英昭  
(久住町久住)

① 皆様のご支援を頂き、議席を得たことに、まず感謝申し上げます。若輩ではございますが、皆様とともに新しい竹田市のまちづくりを頑張ります。

さて、合併しても厳しい財政に変わりなく、行政主導から住民主導へと意識改革が求



土居 昌弘  
(会 々)

① 私には夢があります。いつの日か「市民」と「議会」と「行政」とが、より幸せな地域を築くために、お互いに対話し、そして共に働いている社会で暮らすことです。

そうするにはまず、「市民」「議会」「行政」がよく交わり、それぞれが持っている「情報」を共有することが大切です。

この四年間で、この三者で



「情報」を共有できるしくみづくりに取り組みます。

められています。そのため私は議会の動きをわかりやすくお伝えし、政治への参画意識を持って頂きます。まちづくりの主役は住民の皆様です！「わかりやすいみんなの政治」をモットーに、皆様の意見を市政に反映させるよう全力を尽くします。

② 「日本をいま一度洗濯いたし申し候ことに致すべく」坂本龍馬

③ 趣味、旅行・ドライブ  
特技、フラワーアレンジ

② 人が空を飛ぶことを可能にしたのは、人が空を飛ぶ夢を持ったから。夢しか実現しません。

③ 謡曲(能楽喜多流)、サッカー(不振のエース・ストライカー)



坂梨宏之進  
(倉 木)

① 竹田市には少子高齢化、地域の過疎化などいろいろな問題が山積しています。それらを一一つ解決しなければなりませんと思っています。

しかし、新竹田市誕生はいろいろな面で素晴らしい魅力的な市となりました。観光・産業・文化等、これらの点を線で結びネットワーク化することで竹田市の活性化を狙うことも一つの手法であると考えています。

市民の皆さんの声を聞きながら、また、議論しながら竹田市の発展に努力を重ねていきたいと思っています。

② 不言実行  
③ 川釣、読書



渡辺龍太郎  
(竹田町)

① 地方分権社会への移行が進む中、特色ある自治体づくり



森 哲秀  
(高 伏)

① 竹田市は、農林畜産業を始め商業に至るまで、高齢化・後継者不足による過疎化が大



加藤 正義  
(門 田)

① 新市のスタートという大きな節目であり、真の民主的な市政に大きく前進させる絶好の機会です。市民一人ひとりが参加する地域づくりこそが将来を明るくものにす道だと思えます。

新生竹田市が飛躍発展する基盤は整いました。その新し

が求められる新生竹田市。

若者や高齢者、みんなが安心して暮らせる「まち」づくりをするために、議員として出来る最大限の努力を市民の皆さんと一緒にやってみたい。

② 継続は力なり  
③ 野球



大きく進んでいます。地域の振興と再建は大変難しい感がありますが、安全で安心して暮らしていける社会づくりに努力致します。「竹田で暮らして良かった」を目標に頑張ります。

② 原点に帰れ  
③ 将棋 川釣

い器に夢を盛り輝かせる主役は地域住民です。そんな地域づくりを目指し、一人でも多くの方と対話し、ご意見を市政に反映できるよう微力を尽くします。

② 勇者はおそれる  
③ 囲碁、登山、弓道、絵手紙



吉竹 悟  
(久住町有氏)

① 次世代の担い手が、竹田市で生活できる環境整備の確立。地場産業の育成の急務。市議員の意識改革をし市民生活・市民感覚・市民感情・あらゆるニーズに対応できる人材教育をトップリーダーの責任に於いて改革していくように要望する。其々の地域の利点を



本田 忠  
(米納)

① 力強い励ましとご支援を頂いた方々へ少しでも恩返しするため、幅広い活動を展開し、「初心を忘れず一人ひとりの声を新竹田市政へ・・・」をモットーに全力で頑張ります。ご指導、ご協力をよろしくお願ひします。

② 誠実・行動

③ スポーツ

向上させ、より強くし流出人口を抑え若者の定住を目指し、子育てのしやすい環境の整備と義務教育間の教育に係る教材費の公費負担を実現したい。

② ドリームズ・カム・トゥー

③ ソフトテニスほか球技全般



大塚 哲生  
(久住町栢木)

① 四月一日、一市三町が合併し、新竹田市が誕生いたしました。



中村 憲史  
(久住町白丹)

① この度の合併に伴う新牛竹田市の議会議員として浅学非才の身ではありますが、ご信任を賜りました久住の中村です。平成の大合併による単に行政規模の大きくなった画一的な(市)でなく、広大な自

然と豊富な観光資源を活かした特色のある、魅力のある(市)にしていかなければなりません。いろいろな問題が山積を致しておりますが、多くの皆さんのご意見をいただきながら何事にも信念をもち、誠心誠意努力を尽くす決意であります。今後とも皆様の御指導を賜りますよう、お願い申し上げます。

② 情熱

③ スポーツすべて



荒巻 文夫  
(飛田川)

① 専業農家で生活できる人達が一人でも多く増えていくように。その為には、今何をしなくてはいけないのか。十年先、二十年先を見据えて私な

りに考えた事は、水路の整備、竹田市しかない特産品作り、農産物の販売、この三点に力を入れていきます。また、福祉と農業が合併した福祉農園ができないものか、観光農園がもっと地元根付かないものかと考えております。

② 渴しても盗泉の水を飲まず

③ 読書、柔道

した。今回の合併は、行財政強化型合併です。限られた財源をいかに工夫し、市民の皆さんが望むようなサービスが提供出来る予算執行が行えるか、また地方分権が進む中、新竹田市をどう振興発展させるか、皆さんの意見に耳を傾



伊藤 孝信  
(直入町上田北)

① 新竹田市の議員の席を頂き、誠にありがとうございます。心を新たに闘志を燃やしております。

合併後も財政状況は悪く、住民サービス、福祉、教育などの低下が懸念される事と思われまます。しかしながら農業や観光産業に活路を見い出し、竹田市の振興発展に邁進致します。特にこれからは地方分権(地方は地方)の時代です。市民皆様方とのふれあいを大切にして提言を頂き、問題意識を持ち、代弁者として使命感を大切に頑張ります。よろしくお願ひ致します。

② 信念・情熱

③ カラオケ



和田 幸生  
(平田)

けながら、執行部と共に考え、皆様の負託にお応えすべく、議員活動に傾注してまいります。いと考えております。

② 温故知新

③ ゴルフ

① 新市の課題は山積されていきます。まず人口対策で、交流人口では体験を取り入れ、素通りから滞在型にしたい。定住人口増には、生活習慣の違いを受け入れ出来る地域を作り、都市部退職者を募る。地域の活性化には、まず生産だけでなく、加工・販売までの農業を作りたい。自分でも体験して取り組んでいく。特に果樹は年間すぐに食べられる物を作る。

高齢化対策、福祉対策に取り組む、安全で安心して住んで良かったと言われる竹田づくりをしたい。

② ひたすらに

③ 狩猟、釣

先、二十年先を見据えて私な



後藤 憲幸  
(荻町西福寺)

① 新生竹田市がいよいよスタートし、期待と不安もある事と思いますが、急に流れを変え

ず、昔から受け継がれたイベントや伝統行事は、少しでも多く継承していくようにしたい。市民の意見を大切に、皆さんと共に知恵を出して、住んで良かったと言える町づくりをしたい。

② 愛ある仕事に不況なし  
③ 庭木の手入れ、剣道



足達 寛康  
(久住町白丹)

① この度の市議選では、皆様方に変御世話になりました。竹田市発展のために、微力ではありますがありますが精一杯努力致します。

市政は財政の安定化が重要課題であり、人件費の削減が

不可欠です。中でも議員報酬の見直しをすべきです。収入面では農業・観光等々ですが、農業は集落営農の推進を図り低コスト生産を、また、観光面は立地条件を活かした中でのサービス業の展開、来市客への宿泊施設の拡充、畜産は防疫対策の充実のためには独自の課を設置すべきです。

② 努力に勝る天才なし  
③ つり、ゴルフ



大塚 哲之  
(君ヶ園)

① 十年間の議員活動を反省し、本市の現状を見極め行財政改革に取り組んでいきたい。また、議員として取り組む全て

の課題に対し中途半端でなく、はっきりとした態度を取ってきたい。市民の皆様には行政サービスの低下が起ころぬように監視し、竹田市の特徴を生かし、研究し、よりベター、よりベストの竹田市を作りたい。

竹田市に住んで見たい！竹田市に住みたい！竹田市に住



阿部 重幸  
(荻町宮平)

① この度の一市三町合併により新生竹田市が誕生し、その市議会議員選挙に於いて、荻選挙区で議席をいただきました阿部重幸でございます。新市の誕生は新たな地域づくりの出発です。

住民の一人お一人が地域



大塚 広  
(挟田)

① やりたくなくても、やらなければならぬ課題は山ほど

んで良かった！町づくりをめざして。

② 無我夢中  
③ 旅行、釣



の将来をしっかりと考え共に知恵を出し合い、地域の特性を活かした町づくりをしていかねばなりません。私も合併して地域が寂れる事の無いように、新市民の皆様と議会との掛け橋となり、合併して良かったと思えるよう、生活の豊かさを実感できる地域づくりを目指して頑張ります。

② 一所懸命  
③ 魚釣り、ゴルフ



小野 幹雄  
(直入町神堤)

① 新「竹田市」の第一期議員として大変身の引きしまる思いがしております。人口二万八千という小さな市ではありますが、自然環境に恵まれた竹田市の地域性を生かした農業・観光・教育・福祉の充実に努め、存在感ある大きな竹田市の創生へ向けて努力して参りたいと思っております。

厳しい財政難の中にあっても、少しでも希望のもてる、元気な魅力ある市づくりを目指して、市民の皆様の声を聞きながら、市政へと働きかけて参りたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

② 成せば成る  
③ スポーツ





藤原 勇  
(荻町高練木)

① 去る四月二十四日、竹田市議会議員選挙により荻地区から選出の藤原勇でございます。微力ではありますが、過去町議会三期の経験を生かし、新竹田市振興発展のため粉骨砕身する覚悟でございますので、よろしくお願い申し上げます。当地域の主産業である農林業の振興や、商工業・観光の発展、教育文化・福祉の向上、少子高齢化対策、そして担い手の育成にしっかりと取り組んでいきたいと思っております。



工藤 一成  
(玉来)

① 新竹田市として初の選挙。新しい町づくりを思う気持ちでいっぱいです。

合併は初めて同じ自治体として、大同団結する大事業であり、必ずや立派な地域の発展に結びつけなければなりません。



古井 久和  
(会々)

① 少子化・高齢化の実態が数字以上に進行していることを、今回の選挙で強く感じ、歯止めをかける「若者の定住化」

② 謙虚 努力  
③ 魚つり

③ 初心忘るべからず  
スポーツ観戦 旅行

## 委員会構成

第1回臨時会で新市議会の委員会構成が決定しました。

(◎委員長 ○副委員長)

### 議会運営委員会

◎古井 久和	○藤原 勇	吉竹 悟
◎本田 忠	○大塚 哲生	荒巻 文夫
◎大塚 哲之	○小野 幹雄	

### 常任委員会

《総務》	◎坂梨宏之進	○後藤 憲幸
	佐田 啓二	大塚 惟敬
	吉竹 悟	大塚 哲之
	工藤 一成	
《産業経済》	◎阿部 重幸	○日小田秀之
	井 英昭	土居 昌弘
	荒巻 昭夫	和田 幸生
	小野 幹雄	
《社会文教》	◎加藤 正義	○小代 一幸
	徳永 信二	渡辺龍太郎
	森 哲秀	大塚 哲生
	古井 久和	
《建設》	◎伊藤 孝信	○大塚 廣史
	本田 忠	中村 憲史
	足達 寛康	藤原 勇
	児玉 誠三	

### 議会だより編集委員会

◎加藤 正義	○井 英昭	徳永 信二
◎佐田 啓二	◎坂梨宏之進	中村 憲史
◎伊藤 孝信	◎阿部 重幸	

② 学ぶことは面白いである  
③ レクリエーション活動

が当市の緊急な課題であることを再認識しました。同時に高齢者や障害を持つ人々が、安心して生活できる環境を、もっともっと充実させる必要を痛感しました。

三か年に及んだ合併協議で学んだことを、これからの活動に生かし、地方分権にふさわしい受け皿づくりと少子・高齢化社会に対応した行政基盤の確立に向け、更には引き続き議会の活性化に全力をあげて取り組めます。



児玉 誠三  
(竹田町)

① 新竹田市のスタートであるこの時に、十年前議員に初挑戦し、目的を達した当時の情熱や感激を思い起し、新たな決意で議員活動に取り組みたい。財政的には厳しい状況にあるが、それぞれの地域の歴史や特性を尊重し、バランスのとれた新市づくりを目指したい。最近では行政依存のみでなく、汗と知恵を出し、人の和をもって地域づくりに励む人々が増えている。その動きにより目を向け、耳を傾けながら「プロセスを透明に、政策を的確に」を基本に、合併が市民の幸せに結びつく事を願ってベストを尽くしたい。

② 是非は衆口を逃れ難し  
③ 男の料理、魚釣り

